

令和4年度 1月定例校長会 教育長講話 要約

(オンラインで開催)

新型コロナウイルスについて

10月頃から全国的に拡大した第8波では、亡くなられた方の人数が過去最多であると報道されるなど、未だ、感染者の収束の見通しが立たない状況が続いています。

直近、1月2日から8日までの一週間当たりの市立小中学校の感染者数は199人となり、先週の感染者数より増加していることや、学校が冬休み中であったこと等を考慮すると、引き続き予断を許さない状況だと言えます。

これまで同様に、日々の感染予防に努めていただくとともに、インフルエンザの同時流行も非常に懸念されます。予想される様々なケースを想定して、いざという時にあわてなくていいように、引き続き準備をお願いします。

奈良市二十歳を祝う会について

1月9日に「奈良市二十歳を祝う会」が開催されました。今年度、奈良市では3457名が20歳を迎えました。令和3年の本市の出生数は1992人で、単純に比較しても20年後の二十歳を迎える若者は、今年の約58%にまで減少することになり、危機的な少子化に向かう状況であることを、式典に参加しながら感じました。

式典では、二十歳を迎える参加者を代表し7名が、近況と今後の決意表明を舞台上で行い、代表者の一人は「夢は大きく、志は高く、希望を忘れずに、これからの時代を駆け抜けていきたい」と、式典に参加した仲間に誓いを堂々と述べていました。

午前と午後の部に共通して、参加者の表情が最もほころんでいたように感じたのは、中学校の先生方からのメッセージを伝える動画でした。

時折、懐かしい先生の姿を目にして、歓声の上がる面もありました。学生として、あるいは社会人として立派に成長し活躍している参加者にとっても、学校の存在はいつまでも大きいものだと、感じさせられました。

これからの学校の役割について

これまで「学校の当たり前を見直す」ことを機会あるごとに伝えてきましたが、このことはコロナ禍が一つのきっかけですが、もう一つ、令和3年1月に示された中教審答申があります。

答申よりキーワードを拾い上げると、「個別最適な学び」、「協働的な学び」、「子供を支える伴走者としての教師」、「特異な才能のある児童生徒」、「ICTを活用した学び」、「学校の働き方改革」が挙げられます。

教育委員会では、これらの内容に関する施策を進めており、各学校でもこれらの内容を踏

まえ、学校の特色を生かした教育活動を展開していただいています。

新たな年を迎えた今、教育活動を展開するにあたり持ち合わせていただきたい視点が、答申のもう一つのキーワードである「学校の福祉的な役割」です。

答申では、「人と安全・安心につながることができる居場所、セーフティネットとして身体的・精神的な健康を保障するという福祉的な役割も担っていることが再確認された」と示しています。

私も、特別な支援を必要とする児童生徒の増加や貧困、虐待、ヤングケアラーの課題など、子供を取り巻く環境が多様化している現在、学校が果たしている役割は、単に学習機会と学力を保障するだけでなく、福祉的な側面も含め非常に多岐にわたっているのだろうと思っています。

社会が大きく変化する中、子供たちを取り巻く環境も日々変化しています。教育活動の充実を図る際に、学校が担う「セーフティネットとしての役割」を視点の一つに、子供の発達や学習を取り巻く教育的ニーズをキャッチし、子供たち一人ひとりの可能性を伸ばしていただきたいと思います。

これらの取組は、子供たちに接する先生が趣旨や目的を理解していないと、実りあるものになりません。学校や教育委員会が進める取組が腑に落ちるようにじっくり議論し、校長先生の自身の言葉で語ってください。

ストップいじめなら子どもサミットについて

「ストップいじめなら子どもサミット」は、1月10日（火）に参加対象を小学生と高校生にも広げオンラインで開催しました。

各グループの討議では、自分に望むこととして、「偏見を持たずに、相手を思いやる気持ちをもちたい」、「いじめを許さない雰囲気自分からつくっていききたい」。

また、大人や社会に望むこととして、「加害者にもカウンセリングのシステムをつかってほしい」、「いじめに関する法律をわかりやすくしてほしい」など、活発に意見が交わされ、子どもたちがいじめをなくすことを「自分事」として捉え、いじめをなくすために積極的に取り組んでいこうとする姿勢が見られ、大変頼もしく思いました。

今回の取組や意義を各学校で共有し、教職員・地域・保護者と連携して、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた取組をお願いします。

学校の環境整備について

子供たちが安全・安心して学校施設を利用することができるよう、また、良好な教育環境の下で学習できるように、校舎設備の整備を進めています。

今月中旬から、エネルギー政策の一環として学校の照明設備を順次LEDに換えていく工事を行います。作業にあたり、教室の移動や体育授業の調整をお願いすることとなりますが、スムーズに作業できるよう、全面的な協力をお願いします。

世界遺産学習全国サミットについて

今年度の「第13回世界遺産学習全国サミット in なら」は、2月3日（金）4日（土）の二日間「完全オンライン」開催されます。

1日目の2月3日は、辰市小学校と群馬県藤岡市の美土里小学校の子供たちの学校間交流の発表を、ライブ授業で公開します。また、2日目となる2月4日は、富雄第三小中学校による全体発表や本市教員の実践発表も予定されています。

2年ぶりに本市で開催されるサミットですので、ぜひ、学校の先生方や地域の方々にも紹介いただき、このサミットを、子供も教員も地域の方々も学び・成長する機会としていってください。

一年の締めくくりにあたり

3学期は1年の締めくくりの学期となります。これまで伝えてきた「学校の当たり前を見直す」取組についても総括をし、実現できたこと・できなかったことについて、教頭やミドルリーダーと話を積み重ね、来年度の校内体制の構築に取り組んでください。

あわせて、この1年間の取組や学校ビジョンの進捗状況などの学校評価については、保護者や地域の皆様にも共有できるよう、しっかりと発信をしてください。

そして、引き続き、「誰一人取り残すことのない教育の実現」に向けた取組の推進をお願いします。